

## 2025 年度 事業計画書

(自・2025 年 4 月 1 日～至・2026 年 3 月 31 日)

### はじめに

国内の景気は回復基調にあり、障がい者福祉分野における活動も活発化してきました。その一方で、2024 年 1 月に発生した能登半島地震の被災地における復興は遅々として進まず、いまだに多くの方々が不自由な生活を余儀なくされています。

こうした中、2025 年度については、新たな取り組みとして「農福経営実践塾」を立ち上げ、小倉昌男賞受賞者を塾長とした 2 年間の勉強会を開催し、福祉事業所における経営力強化と工賃向上を目指します。また、障がい者の働く力を育てる理論と旧新堂塾で培ったノウハウを集約したテキストを制作・出版するほか、昨年度より開始した販路拡大研究会での研究活動を本格化し成果につなげます。併せて、能登半島における震災復興・再生支援も継続します。

なお、本年度より助成金選考プロセスのオンライン化やホームページを活用した積極的な情報配信を推進します。また、事業番号（公 1～公 6）の見直しを行い、事業区分をわかりやすく整理します。

### （公 1）助成事業 【164,300 千円】

#### ① 奨学金 （24,000 千円）

40 名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

#### ② 助成金 （130,000 千円）

##### i. 給料増額支援助成金 <110,000 千円>

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がい者施設を対象に助成します。

##### ii. 障がい者福祉助成金 <20,000 千円>

障がい者の福祉に資する活動（講演会・研修・文化・スポーツ等）について、障がい者団体並びにボランティア団体を対象に助成します。

#### ③ その他 （10,300 千円）

### （公 2）研修・育成事業 【42,800 千円】

#### ① セミナー事業 （16,500 千円）

障がい者の働く場でさまざまな実績を上げた方々を招いて、障がいのある人の仕事や暮らしについて参加者もいっしょに考えを深めていく「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を東京会場、名古屋会場の 2 か所で開催します。

#### ② 育成・調査研究 （18,600 千円）

農福経営実践塾は、農業を事業とする福祉施設の経営者・事業責任者を対象に、経営を基礎から学び直し、理論と実践を両建するための実践塾として、2025 年度に開講いたします。農

作物の栽培から収穫までの技術の習得はもとより、福祉施設としての就労支援や施設運営の取り組み方や改善について学び、事業所経営を発展させることで工賃・給料アップを実現していきます。

販路拡大研究会は、障がい者施設で販売している商品の販路拡大のロールモデルを立ち上げるための研究会として検討・検証を継続します。

また、働く意欲のある障がい者が、社会で一層活躍できるように「働く力と工賃向上」について、学識経験者とともにテキスト監修を行ないます。

③ その他 （7, 700 千円）

（公3）顕彰事業【15, 000 千円】

① ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈 （15, 000 千円）

ヤマト福祉財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている個人を対象に、2025 年度も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。

（公4）広報事業 【43, 200 千円】

① 財団 NEWS （37, 300 千円）

財団 News を発行し、賛助会員を中心としたヤマトグループ社員や関係企業、団体に広く当財団の活動を広報いたします。2025 年度は年 2 回発行します。

② ホームページ （3, 000 千円）

ホームページを活用し、機動的かつ社会に広く当財団の活動を広報いたします。

③ その他（2, 900 千円）

（公5）復興・再生支援事業 【5, 000 千円】

① 復興・再生支援事業（5, 000 千円）

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援のための資金枠を確保します。

（公6）団体・活動支援等事業 【47, 600 千円】

① 団体・活動支援事業 （37, 600 千円）

障がい者の自立と社会参加を促進するための活動ならびにその活動を推進する団体を支援する事業です。

i. ヤマト自立センター <5,000 千円>

ヤマト自立センターの活動を全般的にサポートし、障がい者就労の拡大を図ります。

ii. 日本障害フォーラム（JDF）による「障害者の権利条約」に関する事業<1,000 千円>

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出する NGO パラレルレポー

トの準備活動と国内啓発活動に対し、公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。

iii. 「自然栽培パーティ」プロジェクト＜8,000 千円＞

休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動を、引き続き支援していきます。

iv. 全Aネットによる良質なA型事業所認定事業＜5,000 千円＞

良質なA型事業所の増加に向けて、本制度の審査活動を、引き続き支援していきます。  
また、本団体主催による、良きA型事業所の運営や経営に直接役立つ内容のセミナー開催を支援します。

v. 医療ケア児者と家族を支える団体の活動支援＜6,000 千円＞

医療的ケア児者本人とその家族の医療、教育、福祉の各場面を支える団体「特定非営利活動法人 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク」の活動を、引き続き支援していきます。

vi. ゆいジョブ！プロジェクト＜6,000 千円＞

沖縄県内の地元メンバーで構成するゆいジョブ！実行委員が中心となり企画・運営している福祉事業所と一般企業をつなぐビジネスマッチング活動を、引き続き支援していきます。

vii. ボランティアプロジェクト＜3,200 千円＞

ヤマトグループの社会貢献活動の一つとして、労働組合による協力のもと、グループ社員と福祉事業所の利用者、職員等との交流の場を提供することで地域連携を深める活動を行います。

viii. その他＜3,400 千円＞

② その他（10,000千円）

応援団体協賛金等の予備費として計上します。

以 上